

ランチョンセミナー L1-3

6月30日(木) 12:00-13:00 第3会場

## 肝毒性評価におけるMechanism Integrated Predictionの必要性およびその in vitro 評価手法の進歩

講師：竹村 晃典（千葉大学大学院 薬学研究院 生物薬剤学研究室）

座長：青山 晋輔（積水メディカル株式会社 創薬支援営業所）

共催：積水メディカル株式会社

### 概要

薬物性肝障害（DILI）は新薬の開発中止や医薬品の市場撤退につながるため、適切に DILI 発症を予測する必要がある。これまでに蓄積された研究から、胆汁酸排泄トランスポーター阻害、ミトコンドリア障害と代謝活性化を有する薬物について、臨床での DILI リスクが高いことが示された。一方でこれらは非細胞系ならびに肝がん由来細胞で評価されている。本方法は簡便に評価できるが、生体内での現象を適切に評価できていないと思われる。そこで本セミナーでは DILI 予測法の現状ならびに、我々が構築してきた毒性機序に基づいた細胞ベースの in vitro 毒性評価系について紹介する。

ランチョンセミナー L1-4

6月30日(木) 12:00-13:00 第4会場

## iPSC由来のニューロン、アストロサイト、ミクログリア、神経オルガノイドシステムを用いた神経炎症のモデリング

講師：Jason Hamlin, PhD (Product Manager - Neuroscience, STEMCELL Technologies Inc.)

座長：鈴木 郁郎（東北工業大学 大学院工学研究科）

共催：株式会社ベリタス

### 概要

環境毒性と遺伝的要因は、神経変性において主要な役割を担う神経炎症の一因となっています。ミクログリアとアストロサイトはニューロン接続を制御して中枢神経系内の炎症を調節しますが、本発表ではヒト多能性幹細胞（hPSC）由来のニューロン、アストロサイト、ミクログリア、そしてそれらの細胞が神経炎症毒性効果の in vitro モデルにおいてどのように機能するのかについてご紹介します。また、良好な hPSC の分化・様々な細胞種を使った実験デザインを可能にする STEMCELL Technologies 社の STEMdiff™ 神経系分化誘導シリーズ製品の概要についてもお話ししたいと思います。

ランチョンセミナー L1-5

6月30日(木) 12:00-13:00 第5会場

## When Gene Therapy Meets Regulatory Toxicology: From Strategies to Solutions & Applications

講師：Maggie Elorza (Senior Research Scientist, Lab Sciences, Charles River)  
Audrey Saumure Di Fruscia (Research Scientist, Toxicology, Charles River)  
Clotilde Lecrux-Leblond (Scientist, Study Management, Charles River)

座長：南宏幸 (Charles River)

共催：Charles River

### 概要

Gene therapy has emerged as a leading test article modality carrying high hopes for a wide range of diseases. Innovative gene delivery strategies need to address regulatory toxicology requirements across the development continuum. The session will present strategies and relevant regulatory considerations for the conduct of gene therapy toxicology programs.

ランチョンセミナー L1-6

6月30日(木) 12:00-13:00 第6会場

## Nonclinical species selection for biologics - why is it important and what are the options when no appropriate species exists?

講師：Robert Evans  
Christopher Cooper

座長：Sharon Tsai

共催：Labcorp Development Japan K.K.

### 概要

Nonclinical species selection is a critical activity in the development process of biopharmaceutical candidates and forms the foundation of the nonclinical safety programme and regulatory strategy. It must be considered and initiated early in the drug development process. The ICH S6(R1) guideline describes the importance of species selection and the regulatory expectation to use pharmacologically relevant species. The use of "non-relevant species may be misleading and are discouraged." This luncheon seminar will start by exploring the process and important considerations for selecting a pharmacologically relevant species for the nonclinical development of biopharmaceuticals. The seminar will then further explore scenario's where a pharmacologically relevant species is not available, as is often the case for human specific targets. The potential alternative pathways that can be followed will be explored, including a focus on the utilisation of in vitro studies that can be useful in understanding the immunotoxicology of biotherapeutics and help understand the MABEL for translation to first-in-human dosing. Specific examples of how a suite of in-vitro cytokine release assays utilising human cells can be used to bridge the gap between pre-clinical toxicology assessment and setting first in-human dose will be discussed.

## エルゼビア ライフサイエンスソリューションのご紹介

講師：大山 崇広 (ライフサイエンスソリューションズ エルゼビア)

出羽 俊和 (ライフサイエンスソリューションズ エルゼビア)

座長：鈴木 直子 (ライフサイエンスソリューションズ エルゼビア)

共催：エルゼビア・ジャパン株式会社

### 概要

エルゼビアは、研究開発を専門的に支援するためのオンラインデータベースの提供に加え、お客様のニーズに合わせた様々なサービスを提供しています。

今回のランチョンセミナーでは、

- 1) FDA、EMA の医薬品承認審査報告書データベース PharmaPendium の文書検索事例や抽出した毒性データ検索方法
- 2) PharmaPendium 収録データや弊社のデータセットを利用したカスタムプロジェクトの事例をご紹介します。

是非ご参加ください。

## 画像解析AIを用いた安全性試験の自動化

講師：袴田 和巳 (エルピクセル株式会社 CTO)

座長：島原 佑基 (エルピクセル株式会社代表取締役社長 COO)

共催：エルピクセル株式会社

### 概要

エルピクセルはライフサイエンス領域での画像解析技術を強みとし、創薬 AI「IMACEL TOX」を通じて安全性試験の自動化に取り組んでいる。第一段階として Deep Learning を活用した遺伝毒性評価の in vitro 小核試験の自動化サービスを展開し、安全性評価の効率化支援を開始した。小核試験は膨大なサンプル観察や研究者の熟練度への依存が課題となっており、AI による研究者負担軽減・研究開発加速の貢献度が大きい。本セミナーでは①小核試験自動化技術の詳細、②その他の安全性試験における今後の AI 活用について議論したい。

## 新規ハイクオリティー *in vitro* ヒト肝細胞の安全性研究への応用

講師：末水 洋志（公益財団法人実験動物中央研究所 研究部門）  
 石田 誠一（崇城大学大学院 工学研究科 応用生命科学専攻）  
 座長：末水 洋志（公益財団法人実験動物中央研究所 研究部門）  
 共催：公益財団法人実験動物中央研究所

### 概要

実験動物中央研究所（実中研）は実験動物の品質規格の確立を目指し1952年に活動を開始し、“科学的で再現性ある動物実験”の実現に貢献してきました。このような理念に基づき開発された実験動物から得られる細胞は、“科学的で再現性ある *in vitro* 実験”をも可能にすると考えています。ヒト化肝臓マウスはこのような実中研の理念と成果を基盤として開発された実験動物であり、Hu-liver cellはこの実験動物を用いて計画生産された規格化ヒト肝細胞です。本セミナーではHu-liver cellの特徴を実験動物の末水洋志が紹介し、その利用について崇城大学の石田誠一先生に話題を提供していただきます。

## 低分子医薬品開発における光安全性評価戦略

講師：永井 博文（Axcelead Drug Discovery Partners 株式会社）  
 共催：Axcelead Drug Discovery Partners 株式会社

### 概要

低分子医薬品開発における光安全性評価についてはICH M3 (R2) 及びS10ガイドラインに各試験の実施時期や試験項目について一般的な記載があるものの、実際の医薬品開発過程でいつどのような光毒性試験を実施し、試験結果をどのようにして臨床開発に反映させていくのか悩まれている方も多いと思います。本セミナーでは、医薬品開発における光安全性評価の具体例を交えながら、演者の20年の非臨床医薬品開発経験に基づく実践的な光安全性評価戦略を紹介いたします。

## 幼若動物を用いた安全性試験の実際

講師：有馬 昭宏（株式会社新日本科学）  
 座長：蓑毛 博文（株式会社新日本科学）  
 共催：株式会社新日本科学

### 概要

ICH-S11：「小児用医薬品開発の非臨床安全性試験ガイドライン」は2020年4月にStep 4に到達した。これにより、幼若動物試験（JAS）の有用性、実施時期、試験デザインについて国際的な推奨基準が示された。一方、小児を組み入れる臨床試験実施のためにJASは必ずしも新たに実施する必要はなく、その必要性は対象患者集団の年齢、投与期間、既存の臨床あるいは非臨床のデータ、薬理学的特性、薬物動態データなどからウエイトオブエビデンスの考え方に基づいて総合的に判断される。そして、最終的なJAS実施の判断及び適切な試験デザインの設定は開発者側に委ねられており、実際にはケース・バイ・ケースで考える必要がある。更に、実際には、投与開始可能な日齢あるいは投与経路には制限があり、採血量等には限界があるため、開発者側が考える試験デザインの実現が難しいケースがある。そこで、本セミナーでは、当社の試験実績をもとに、幼若動物を用いた安全性試験の実際について紹介する。

## ICH S5 (R3) and ICH S11 Guidance - Conducting DART and Juvenile Studies Based on the Latest Guidance

講師：Alan M. Hoberman, Ph.D., DABT, Fellow ATS  
(Executive Director, Global Developmental, Reproductive and Juvenile Toxicology, Charles River)

座長：上西 将路 (Charles River)

共催：Charles River

### 概要

This presentation will focus on the most recent revisions to ICH S5 including alignment with other ICH guidelines, exposure margins in dose selection, risk assessment, vaccines, biopharmaceuticals, alternative assays, and options for deferral of studies. ICH S11 Juvenile toxicity study guidance will include the need for a case-by-case approach. The use of information gained from non-clinical adult toxicity studies, the intended use of the pharmaceutical in the clinic, the age of the population and target organs and the duration of use in the population all affect the final juvenile study design.

## 創薬支援におけるニコンの取り組み

講師：清田 泰次郎 (株式会社ニコン フェロー ヘルスケア事業部 ステムセル事業推進部長)

座長：宮本 健司 (株式会社ニコンソリューションズ バイオサイエンス営業本部 創薬研究支援部長)

共催：株式会社ニコン

### 概要

近年、ヒト幹細胞や細胞分化技術を応用し、生体外での薬剤候補化合物の効果や毒性の評価が盛んに行われています。様々な評価系が開発・利用されていく中で、細胞観察装置に求められる機能も多様になっています。ニコンでは生物顕微鏡のみならず、お客様の課題解決のために様々な製品・サービスを展開しています。本セミナーでは、多彩な観察装置と撮影・解析・AI技術、微小環境で生体を模倣する Microphysiological System (MPS) の観察例、シングルセルアッセイ・回収が可能な装置、局在情報を利用するシグナルパスウェイ解析サービスなど、研究・開発に役立つ様々な技術を幅広くご紹介いたします。

## ① Qube 384技術を用いたCiPAパネル試験系の構築

講師：Muthukrishnan Renganathan, Ph.D (Eurofins Panlabs Inc.)

② ICH S1B(R1) がん原性試験に関するガイドライン補遺  
- *in vitro*分子標的パネル試験のアプローチのご提案 -

講師：玉岡 正己 (Eurofins Discovery 日本事業部)

## ③ 組織試料を用いた質量分析によるラベルフリー披検化合物の結合による新規マルチターゲティング安全性予測

講師：Manilduth Ramnath, Ph.D (Eurofins Cerep SA)

座長：今立 真 (Eurofins Discovery 日本事業部)

共催：Eurofins Discovery

## 概要

- ① CiPA イニシアチブの目的は、臨床でのTdPの発現可能性を評価するための新しいパラダイムの採用を促進することです。TdRの発現予測は、hERGブロックの評価だけでは不十分であり、QT延長評価は全く価値がない。自動化した細胞パッチクランプ (Qube 384) 技術を使用して、脱分極電流 hNav1.5 および hCav1.2 と、再分極カリウム電流 hKv4.3 / KChIP2、KCNQ1、および hERG をマルチホールモードで記録する CiPA パネル試験を構築した。今回の JSOT セミナーでは、自動化細胞パッチクランプ試験のバリデーションデータを示し、CiPA パネル試験の有用性を紹介します。
- ② ICH S1B(R1) がん原性試験に関するガイドライン補遺は、Step 3 到達に向けての意見集約中で、Step 4 の段階で S1B ガイドラインと統合される予定である。本セミナーでは、げっ歯類のがん原性試験実施の意義の判断に有用な *in vitro* パネル試験を提案する。  
がん原性に関与する分子標的として、薬物代謝酵素関連 2 種、DNA 修復関連 2 種、活性酸素産生関連 5 種、炎症関連 13 種、アポトーシス関連 11 種、受容体関連 13 種、細胞増殖関連 12 種の計 58 種を抽出した。これら 58 種の分子標的による *in vitro* の網羅的なパネル試験データは、がん原性試験実施の意義を判断する材料として有用と考えられる。
- ③ 化合物の安全性薬理評価は、複数の分子標的を対象にして、放射性リガンドを用いた受容体で試験するのが標準の試験となっております。  
今回のご提案は、放射性ラベルフリーのマルチターゲットモニタリング (MTM) を使用して、ラットの大脳皮質に存在する 10 個の受容体への披検化合物の結合を同時に評価する手法でございます。  
質量分析による MTM ラベルフリー結合を評価すると、複雑な生物学的マトリックスでの複数のターゲットモニタリングが可能になり、安全性薬理評価の問題に関連する安全性 / 毒性学研究にとって魅力的なアプローチになる可能性があることを期待しております。

## 毒性評価と疾患モデル研究におけるMicrophysiological systems (MPS) の3次元ハイスループットイメージング解析

講師：江尻 洋子 (MIMETAS Japan 株式会社)

宇田川 紘司 (モレキュラーデバイスジャパン株式会社)

座長：江尻 洋子 (MIMETAS Japan 株式会社)

共催：MIMETAS Japan 株式会社 / モレキュラーデバイスジャパン株式会社

### 概要

モレキュラーデバイスの ImageXpress® ハイコンテンツイメージングシステムは、厚みのある組織、生体モデル、細胞内・細胞間事象に関する高品質な画像を3次元的に撮影できるユニークな共焦点技術を搭載しています。水浸レンズやMIMETAS社のOrganoPlate®のような特殊なプレートデザインにも適した優れたオートフォーカス機能により、複雑な3次元組織モデルを用いたアッセイの開発や解析に重要な役割を果たします。このランチョンセミナーでは実際に当社のハイコンテンツイメージングシステムを用いて実施された3次元組織や細胞サンプルの解析事例について紹介します。

## 標的設定型安全性評価 (Target Safety Assessment: TSA)及びCDISC SENDにおける非臨床試験データのビジュアライゼーションの効果的利用 -デジタルトランスフォーメーションのための非臨床データリポジトリの基盤構築を支援するInstemのソリューション-

講師：ジョナサン・スパークス (Instem LSS Limited)

北原 輝和 (Instem Japan)

座長：安齋 享征 (昭和大学 医学部)

共催：Instem Japan 株式会社

### 概要

Instem's KnowledgeScan™ Target Safety Assessment (TSA) は最先端の拡張インテリジェンス機能を活用した先進テクノロジーを駆使したサービスで、研究開発における TSA プロセスの変革を推進しており、我々のサービスのグローバルでの活用事例をご紹介します。

最新のテクノロジーを搭載した SEND Explorer® は統制された SEND データを利用することで、非臨床試験データのビジュアライゼーションを実現し、非臨床データの分析プロセスを見直し、働き方に変革をもたらします。また、統制された SEND データを効率的に構築するソリューションをご紹介します。

ランチョンセミナー L3-5

7月2日(土) 12:00-13:00 第5会場

## Trends and developments in Environmental (Risk) Assessment of human drugs

講師：Daphne de Roode, PhD, ERT (Section Head Regulatory Environmental Toxicology and Chemistry, Charles River Den Bosch)

座長：小田切 慧 (Charles River)

共催：Charles River

### 概要

Environmental (risk) assessment is a mandatory part of NDAs and MAAs in the USA and Europe. The existing guidance documents date back to 1998 for the USA and to 2006 for Europe, but both have been supplemented by additional guidance or amended by Q&A documents. An updated version of the European guideline has been drafted in 2018.

This presentation gives an overview of the tiered approach of environmental risk assessment in Europe and the US, discussing the basis and principles of each step. Trends and developments will be included, focusing on the consequences for the testing approach. The presentation will also highlight some recurring questions from pharma companies and feedback from authorities.

ランチョンセミナー L3-6

7月2日(土) 12:00-13:00 第6会場

## ソーシャルハウジングとアニマルウェルフェアにおける最近の取り組み

講師：川島 良介 (株式会社新日本科学)

座長：有馬 昭宏 (株式会社新日本科学)

共催：株式会社新日本科学

### 概要

実験動物を取り巻く社会的な目は厳しくなっている。実験動物のアニマルウェルフェアを考える基準の一つとしてソーシャルハウジングがある。「実験動物の管理と使用に関する指針第8版」においても、社会的動物は実験上の特段の理由が無い限り、ペアまたはグループで飼育されるべきであると記載されている。株式会社新日本科学は、2011年より AAALAC International の完全認証を継続しており、性成熟したカニクイザルや雄の ICR マウスを含めて、ソーシャルハウジングに積極的に取り組んでいる。本セミナーでは、我々のソーシャルハウジングとアニマルウェルフェアにおける最近の取り組みについて紹介する。

## 富士フィルム和光純薬主催ランチョンセミナー ヒト肝細胞を用いた in vitro 評価系の現在・未来 — 「肝臓らしさ」とは？

講師：石田 誠一 教授 (崇城大学大学院 工学研究科 応用生命科学専攻 / 国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター)

山田 しおり (富士フィルム和光純薬株式会社 試薬営業本部 バイオソリューション推進部)

Albert P. Li, Ph. D. (Chief Scientific Officer of Pharmacology and Toxicology, Discovery Life Sciences LLC)

座長：寅嶋 崇 (富士フィルム和光純薬株式会社 試薬営業本部 バイオソリューション推進部 部長)

共催：富士フィルム和光純薬株式会社

### 概要

薬物代謝、薬物間相互作用、肝毒性、薬理学といった薬物特性の評価には、ヒト凍結肝細胞がゴールドスタンダードとして広く使用されている一方で、機能面での課題も持つ。本セミナーではプライマリー細胞、iPSC 由来細胞、キメラマウス由来細胞など様々な in vitro 評価系の比較を行なう崇城大学 石田教授を招き、各評価系における位置づけについて解説いただくとともに、MPS (Microphysiological Systems: 生体模倣システム) を用いた in vitro での生体肝により近い環境での評価に対する最新の知見を伺う。また当社取り扱いの凍結肝細胞の供給サプライヤー Discovery Life Sciences 社より、凍結肝細胞が可能にするソリューションについて紹介する。

### ①イメージング質量分析の技術紹介

講師：相川 博明 (株式会社 LSI メディエンス)

### ②PDX (Patient-Derived Xenograft) モデルを用いた創薬支援サービス

講師：榎 成憲 (株式会社 LSIM 安全科学研究所)

座長：内田 秀臣 (株式会社 LSIM 安全科学研究所)

共催：株式会社 LSIM 安全科学研究所

### 概要

①イメージング質量分析 (IMS) は、投与された薬物やその代謝物、生体内物質の組織中の局在を 2 次元画像として微細に可視化できる技術です。

セミナーでは、クロロキンを投与した有色ラット眼球について、FT-ICR 型質量分析 MALDI イメージングシステムを用いて実施した分析を事例として IMS の技術の一端をご紹介します。

②私たちは、国立研究開発法人国立がん研究センターと協働し、日本人がん患者由来の PDX (J-PDX) ライブラリーを構築するとともに、医薬品開発やがん医療に PDX を活用するための技術基盤を整備して参りました。

セミナーでは、J-PDX を用いた各種サービスについてご紹介します。

## スポンサー CM

各学術セッション前に、1つ2分間の各社CMを配信いたします。

---

CM1	6月30日(木)	13:28-13:30	第2会場
-----	----------	-------------	------

---

MDPI

---

CM2	6月30日(木)	13:28-13:30	第5会場
-----	----------	-------------	------

---

大正製薬株式会社

---

CM3	7月2日(土)	8:58-9:00	第2会場
-----	---------	-----------	------

---

大正製薬株式会社

## Sponsor ガイド (各社一覽)

## 受託研究機関

## AnaBios Corporation


  
Early Human Insights

米国カリフォルニア州サンディエゴに位置するAnaBios(アナバイオス)社は、ヒトに焦点を当てた高度なトランスレーショナル・テクノロジーにより、新規化合物の安全性と有効性の確立を目指します。

**キーワード:** Human Tissue ヒト組織・Cardiom 心筋細胞・Preclinical 前臨床・  
Translational Research トランスレーショナルリサーチ・Spinal Cord 脊髄

住所: 92109 3030 Bunker Hill Street, Suite 312, San Diego, California, USA  
TEL: +1-858-224-7360 / +81-80-5374-2331 / E mail: info@anabios.com / URL: http://www.anabios.com

**Axcelead Drug Discovery Partners株式会社 /  
Axcelead Drug Discovery Partners, Inc.**


Axceleadは、2017年に武田薬品工業株式会社の創薬プラットフォームを継承して事業を開始した、日本初の創薬ソリューションプロバイダーです。創薬プレーヤーのパートナー、“Partnership Research Organization(PRO)”として、お客様と共に歩み、共に考え、日本から世界へ創薬イノベーションの創出を目指します。

**キーワード:** プロジェクト協創型ソリューション・課題別ソリューション・ニューモダリティ・  
非臨床開発コンサルティング

住所: 2510012 神奈川県藤沢市村岡東二丁目26番地の1  
TEL: - / E mail: contact@axcelead.com / URL: https://www.axcelead.com/

## Charles River



Charles Riverは3日間のランチョンセミナーで、遺伝子治療、幼若・生殖発生毒性、環境リスクアセスメントのトピックを予定しております。幼若・生殖発生毒性は現地講演ですので、直接ご質問いただけるこの機会に、ぜひご参加ください。また、展示ブースにてお会いできることを楽しみにしております。

**キーワード:** 安全性試験・遺伝子・細胞治療・幼若・生殖発生毒性試験・経皮吸収試験・環境リスクアセスメント

住所: 222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-14 WISE NEXT新横浜3F  
TEL: 045-285-9432 / E mail: InfoPCC-JP@crl.com / URL: https://www.criver.com/

**株式会社DIMS医科学研究所 /  
DIMS Institute of Medical Science, Inc.**


DIMSは、腫瘍病理研究に加えて、再生医療や抗腫瘍性試験への展開、協業体制による安全性試験のパッケージ受託、申請業務支援のコンサルテーションを推進しております。また、気管内投与試験は高い技術力により豊富な実績を重ね、病理関連ではアドオンサービスとしてデジタルスライド、AI高精度画像解析サービスをご提供します。

**キーワード:** 安全性試験・気管内投与・非臨床コンサルティング・バーチャルスライド・抗腫瘍性試験

住所: 491-0113 愛知県一宮市浅井町西浅井郷裏64  
TEL: 0586-51-1201 / FAX: 0586-51-5634 / E mail: query@dims.co.jp / URL: http://www.dims.co.jp

## Labcorp Development Japan K.K.



LabCorp is a leading global life sciences company that provides vital information to help doctors, hospitals, pharmaceutical companies, researchers and patients make clear and confident decisions. Through our unparalleled diagnostics and drug development capabilities, we provide insights and accelerate innovations to improve health and improve lives.

Learn more about LabCorp at [www.Labcorp.com](http://www.Labcorp.com) or follow us on LinkedIn and Twitter @Labcorp.

As a leading contract research organization (CRO), Labcorp Drug Development provides comprehensive drug development solutions for a range of industries. Our services cover the preclinical, clinical and post-market phases of drug development, the product life cycles for medical device and diagnostics and development services paired with regulatory support for the chemical testing and crop protection industries.

Labcorp Drug Development is a global leader in nonclinical safety assessment, clinical trial testing and clinical trial management services. Our unique perspectives are based on decades of scientific, medical and regulatory expertise.

**キーワード：** drugdevelopment · diagnostics · nonclinicaldrugdevelopment · immunotoxicology · nonclinical safety program

住所：Harumi Triton Square Office Tower Y 8F, 1-8-11, Harumi, Chuo-ku, Tokyo 104-6108 Japan

TEL：+81-3-6837-9500 / +81-3-6220-3575 / URL：<https://drugdevelopment.labcorp.com/>

## 株式会社 LSIM安全科学研究所 / LSIM Safety Institute Corporation



前身の三菱化学安全科学研究所設立以来、40年以上にわたり様々な分野からの安全性評価等の期待にお応えすべく試験研究サービスの充実に努めてまいりました。これからも、最新の安全科学サービスを提供できるよう新規技術の導入等のサービス拡充につとめ、多種多様な研究ニーズにお応えして参ります。

**キーワード：** 非臨床 · 安全性 · 薬理 · 再生医療 · PDX

住所：101-0047 東京都千代田区内神田一丁目13番4号

TEL：03-5577-0807 / E mail：NPA-LSSI-HO-BMD@nm.medicence.co.jp /

URL：<https://www.ankaken.co.jp/contact/index.php>

## SOLVO Biotechnology | A Charles River Company



SOLVO Biotechnology | A Charles River Companyは薬物トランスポーターに関するADME/TOX分野に特化した企業です。

弊社では肝・腎毒性に関連するトランスポーター試験、試薬はもとより、ヒト及び各種非臨床動物由来の近位尿管細胞培養系、各種肝細胞培養系を用いた*in vitro*毒性試験を提供しています。

ブースにて資料を取り揃えております。是非お立ち寄りください。

**キーワード：** トランスポーター · 肝毒性 · 腎毒性 · *in vitro* · 動物種差

住所：1117 Irinyi Jozsef street 4-20, B2 Building, Ground floor, Budapest, 1117 Hungary

TEL：-8498503 / E mail：SOL-office@crl.com / URL：<https://www.solvobiotech.com/>

## 株式会社安評センター / BioSafety Research Center Inc.



私たちは、日常の生活において、医薬品、農薬、食品関連物質、工業化学物質等の数万種類に及ぶ化学物質の恩恵を受けながら生活しています。

これらを適正に使用するためには、適切な安全性評価が欠かせません。

安評センターは科学性と信頼性に立脚した安全性評価を通じて人類の幸福に貢献します。

**キーワード：** 遺伝毒性試験 · OECD TG488 · 環境毒性試験 · 安全性試験 · 農薬ドシ工作成

住所：437-1213 静岡県磐田市塩新田582-2

TEL：0538-58-1266 / URL：<http://www.anpyo.co.jp>

株式会社イナリサーチ /  
Ina Research Inc.



イナリサーチは、コンサルティングから受託試験実施・薬事申請まで、お客様の研究開発に最適な提案をトータルサポートいたします。安全性評価のレギュラトリー試験ラインナップに加え、海外パートナー機関とのアライアンスにより多様なニーズに対応しています。展示ブース(No.25)で皆様のお越しをお待ちしています。

キーワード：非臨床CRO・代替法・SEND・薬事コンサルティング・環境機器

住所：3994501 長野県伊那市西箕輪2148-188  
TEL：0265-72-6616 / E mail：mkt0265info@ina-research.co.jp / URL：https://www.ina-research.co.jp/

一般財団法人化学物質評価研究機構 /  
Chemicals Evaluation and Research Institute, Japan



CERIは医薬品をはじめ、化粧品、農薬、化審法等の申請用GLP試験を承っています。動物愛護に配慮した皮膚感作性試験(DPRA、h-CLAT、KeratinoSens™等)、*in vitro*皮膚刺激/腐食性試験、眼刺激/損傷性試験、ICH M7に対応した変異原性評価、PDE設定にも対応します。ご興味がありましたらぜひブースにお立ち寄りください。

キーワード：安全性試験・遺伝毒性試験・環境毒性試験・代替法・不純物評価

住所：112-0004 東京都文京区後楽1-4-25 日教販ビル7F  
TEL：03-5804-6134 / FAX：03-5804-6140 / E mail：cbc@cerij.jp / URL：https://www.cerij.or.jp/

株式会社化合物安全性研究所 /  
Safety Research Institute for Chemical Compounds Co., Ltd.



化安研は、非臨床および臨床試験の受託を行っているCROです。これまでに培ってきた経験をもとに、医薬品・医療機器・再生医療等製品など各種モダリティの開発における、非臨床試験から臨床試験までをワンストップサポートする体制を構築しています。コストを抑えながらも、質の高いサービスをご提案させていただきます。

キーワード：安全性試験・臨床試験・医薬品・医療機器・再生医療等製品

住所：004-0839 札幌市清田区真栄363番24  
TEL：011-885-5031 / FAX：011-885-5313 / E mail：KA-info@ka-anken.co.jp / URL：https://www.ka-anken.co.jp

株式会社ケー・エー・シー /  
KAC Co., Ltd. Bioscience Business Division, Technology Promotion Division



遺伝子改変動物・病態モデル作製から薬効薬理試験、病理組織学的検査までを一貫して提供いたします。病理標本作製はGLP基準にて実施が可能です。近年、AAVベクターの受託作製業務を開始いたしました。

動物実験手技研修や獣医学的管理、動物実験委員会の相談も承っております。お気軽にご相談ください。

キーワード：疼痛・アレルギー・病理・研修・動物実験委員会

住所：520-3001 滋賀県栗東市東坂91  
TEL：東日本03-5807-8051 / 西日本077-559-2002 / E mail：bseigy@kacnet.co.jp / URL：https://www.kacnet.co.jp/bioscience/

## シミックファーマサイエンス株式会社 / CMIC Pharma Science Co., Ltd.



シミックファーマサイエンス株式会社は、各種GLP適合かつグローバルな品質保証体制のもと、最新の研究棟を所有する非臨床受託研究施設として、医薬品、医療機器、再生医療等製品などの安全性試験や有効性試験を行います。本年はin vitro ADME -TOXを特長とするCyprotex社と共同でブースを出展いたします。是非、お立ち寄りください。

**キーワード：**安全性・GMP・再生医療等製品・ADME-TOX

住所：408-0044 山梨県北杜市小淵沢町10221番地  
TEL：0551-36-2455 / FAX：0551-36-3895 / E mail：yutaka-takano@cmic.co.jp /  
URL：https://www.cmicgroup.com/corporate/group/cmic-phs/

## 株式会社新日本科学 / Shin Nippon Biomedical Laboratories, Ltd.



株式会社新日本科学は、1957年に国内初の医薬品開発の受託研究機関として鹿児島に誕生しました。以来、非臨床試験受託事業において確固たる事業基盤を築き上げ、その後、薬物動態・分析などを包含した総合受託企業としてグローバルに医薬品開発に貢献しています。

**キーワード：**非臨床・受託・薬理・分析・サル

住所：891-1394 鹿児島県鹿児島市宮之浦町2438  
TEL：099-294-2600 / E mail：info@snbl.co.jp / URL：https://www.snbl.co.jp

## 積水メディカル株式会社 / SEKISUI MEDICAL CO., LTD.



積水メディカルは非臨床薬物動態試験を中心にTK測定、in vitro肝毒性予測、in vitro安全性薬理評価など、幅広く創薬支援業務を行っております。是非お気軽に当社展示ブースにお立ち寄りください。

**キーワード：**肝毒性予測・バイオアナリシス・バイオマーカー・安全性薬理・ヒト新鮮組織

住所：103-0027 東京都中央区日本橋二丁目1番3号  
TEL：03-3271-5634 / FAX：03-3272-0700 / E mail：toiawaseyakudo@sekisui.com /  
URL：https://www.sekisui-medical.jp/business/adme\_tox/

## 千代田化工建設株式会社 / Chiyoda Corporation



千代田は施設エンジニアリングのみならず、創薬の研究開発から「伴走型」でお客様のサポートをいたします。戦略立案などのコンサルティング、ガイドラインを踏まえたアッセイ系構築、各種分析を千代田にて実施可能です。お客様の研究開発を加速させ新しい知見をご提供できるよう活動しております。是非ご相談ください。

**キーワード：**受託サービス・細胞/再生医療・セルベースアッセイ・品質特性評価・  
施設・設備エンジニアリング

住所：221-0022 横浜市神奈川区守屋町三丁目13番地  
TEL：045-285-4838 / E mail：lifescience@chiyodacorp.com / URL：https://www.chiyodacorp.com/

## 日精バイリス株式会社 / Nissei Bilis CO.,LTD.

日精バイリスは安全性試験、薬理試験、品質試験等の受託試験機関です。得意とする薬理試験を生かした副作用確認、ブタを用いた医療機器試験、免疫不全動物を用いた再生医療関連の試験も数多く行っております。

キーワード：薬理試験・再生医療・医療機器・免疫不全動物・ブタ(マイクロ、ミニ、家畜)

住所：5280052 滋賀県甲賀市水口町宇川555  
TEL：0748-63-5250 / E mail：info@bilis.co.jp / URL：http://www.bilis.co.jp/

## 一般社団法人 日本安全性試験受託研究機関協議会(安研協) / Japan Association of Contact Laboratories for Safety Evaluation (JACL)

非臨床試験受託機関による35年以上の歴史を持つ協議会で、現在、正会員21社、賛助会員1社が所属しております。主な取り組みは、1.諸情報の共有、2.関連諸団体との連携、3.非臨床試験の市場調査、4.講演会等の開催、5.製薬協との運営管理者意見交換会の実施、6.技術者認定制度の運営、7.教育テキストの販売等です。

キーワード：安研協・非臨床試験受託研究機関協議会・安研協認定技術者認定制度・安全性試験の教育・研修テキスト

住所：288-0874 千葉県銚子市豊里台1-1044-534 (武知宅内)  
TEL：0479-21-3016 / FAX：0479-21-3016 / E mail：ankenkyou.office@gmail.com / URL：https://jacl.or.jp/

## 株式会社日本バイオリサーチセンター / Nihon Bioresearch Inc.

医薬品、医療機器、再生医療等製品の非臨床試験を実施している開発型・提案型のコントラクトラボです。ミニブタ専用施設や小動物の高度免疫不全動物専用施設、BSL IIの感染施設も有しています。特にミニブタを用いた試験では500試験を超える実績があります。モデル構築試験からも実施しますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

キーワード：ミニブタ・特殊毒性・薬理・感染・医療機器

住所：5016251 岐阜県羽島市福寿町間島6-104  
TEL：058-392-6222 / FAX：058-392-2432 / URL：https://www.nbr.co.jp/

## 株式会社フェニックスバイオ PhoenixBio Co., Ltd.



「PXBマウス(ヒト肝細胞キメラマウス)」は、ヒトの肝臓組織をもつ実験動物で、ヒト肝毒性予測等に利用されています。

「PXB-cells」はPXBマウスから分離した新鮮ヒト肝細胞です。

PXB-cellsは、高いヒト型活性維持・長期培養・同じドナー由来の細胞を安定供給できる新鮮肝細胞です。当社ブースで試験例などご紹介致します。

キーワード：ヒト肝細胞キメラマウス・新鮮ヒト肝細胞・ヒト肝毒性予測・ミトコンドリア毒性・肝毒性バイオマーカー

住所：739-0046 広島県東広島市鏡山3-4-1  
TEL：082-431-0016 / E mail：sales@phoenixbio.co.jp / URL：https://phoenixbio.co.jp/

## 株式会社ボゾリサーチセンター / BoZo Research Center Inc.



株式会社ボゾリサーチセンターは2022年2月22日におかげさまで設立50周年を迎えました。これもひとえに皆様のご支援とご厚誼の賜物と深く感謝し御礼申し上げます。

弊社の特徴は、「国内最大級の試験施設」、「創立後50年間における豊富な試験実績」、「多種多様な試験への高い技術的対応能力」、「信頼性の高い報告書」、「グローバルサポート」です。これからも皆様の開発をサポートし、共に歩んでいけるCROを目指してまいります。

**キーワード：**安全性試験・CRO・毒性試験・再生医療等製品・前臨床試験

住所：151-0065 東京都渋谷区大山町36-7  
TEL：03-5453-8101 / E mail：info@bozo.co.jp / URL：https://www.bozo.co.jp/

## 株式会社薬物安全性試験センター / Drug Safety Testing Center Co., Ltd.



丁寧かつ迅速な対応で実績のある急性毒性試験、Ames試験の他、DSTCのアイテムの一つ、安全性薬理試験イオンチャンネル評価はCiPA提唱のhERG, Nav1.5, Cav1.2電流評価にはGLP対応での実績あり！SDS, 海外登録申請, SEK, SIAA認証に必要な安全性試験, 医療機器の生物学的安全性試験, また、眼科薬理評価も始めております。詳しくはブースにて！

**キーワード：**Ames・医療機器・hERG・安全性薬理・SIAA

住所：355-0071 埼玉県東松山市新郷88-75  
TEL：0493-21-7160 / FAX：0493-21-7161 / E mail：toiawase@dstc.jp / URL：https://www.dstc.jp/

## ユーロフィンディスカバリー / Eurofins Discovery



DISCOVERY

in vitro 薬効薬理試験, ADME/TOX試験, 表現型プロファイリング, 創薬化学合成, in vivo 薬効薬理試験, カスタムサービスなど, お客様の創薬研究のスピードアップに役立つサービスおよび製品を提供しております。

スポンサーセミナーにも是非ご参加ください

**キーワード：**in vitro がん原性パネル試験・CiPA心毒性試験・in vitro安全性薬理試験・ADME-TOX/DMPK・表現型プロファイリング

住所：63304 6 Research Park Drive St Charles MO, USA  
TEL：+1 833 508 2429 / E mail：JapanSupport@eurofins.com / URL：https://www.eurofinsdiscoveryservices.com/

**アブカム株式会社 /  
Abcam K.K.**


アブカムはバイオサイエンス研究用試薬のイノベーターとして、基礎研究、応用研究、そして臨床研究のコミュニティに生命活動に重要な生物学的経路を解明するための高品質な抗体やアッセイキットなどのツールや、それらをご使用いただく研究者の皆様への技術的サポートを提供しております。

**キーワード：**モノクローナル抗体・ELISA・免疫染色・蛍光標識・ノックアウト細胞

住所：103-0012 東京都中央区日本橋堀留町2-2-1  
TEL：362310946 / FAX：362310941 / URL：https://www.abcam.co.jp/

**関東化学株式会社 /  
KANTO CHEMICAL CO.,INC.**


関東化学株式会社は総合試薬メーカーとして、基礎研究用試薬から高機能薬品にいたるまで、様々なニーズを満たす製品を提供し続けております。今回の展示ブースでは、薬毒物の簡易分析キットや細胞培養器材「ad-MEDビトリゲル」シリーズの製品見本を多数展示しております。是非ブースにお立ち寄り下さい。

**キーワード：**薬毒物検査・創薬支援・眼刺激性試験・腸管上皮・培養デバイス

住所：1030022 東京都中央区日本橋室町2-2-1室町東三井ビルディング20階  
TEL：03-6214-1094 / FAX：03-3241-1057 / URL：https://www.kanto.co.jp/

**クラボウ /  
KURABO**


正常ヒト細胞から構築した3次元モデル(米国MatTek社)を販売しています。皮膚・眼・口腔・気管支・小腸といった多様な組織モデルをご用意しており、安全性/毒性試験の他、透過性や感染、代謝試験などにもご利用いただけます。多くの技術資料もご用意しておりますので、お気軽にお問い合わせください。

**キーワード：**3次元モデル・気管支・小腸・皮膚・口腔

住所：572-0823 大阪府寝屋川市下木田町14-30クラボウ先進技術センター 2F  
TEL：072-820-3079 / URL：https://www.kurabo.co.jp/bio/index.html

**黒金化成株式会社 /  
KUROGANE KASEI Co.,Ltd.**

近赤外の発光波長を有する生物発光イメージング基質「TokeOni」をご紹介します。理化学研究所が開発した酵素Akalucとの組み合わせにより高輝度を実現し、これまで観測できなかった中小型動物の生体深部のイメージングを可能にしました。

**キーワード：**生物発光イメージング・TokeOni(Akalumine-HCl)・生体深部可視化・近赤外ルシフェリンアナログ

住所：460-0003 愛知県名古屋市中区錦1-6-17  
TEL：052-231-1267 / E mail：office@kuroganekasei.co.jp / URL：https://www.kuroganekasei.com/development.html

## 株式会社ケー・エー・シー 試薬事業部 / KAC Co., Ltd. Reagents Business Division



ヒト肝セルラインHepaRG、ECACC株細胞、初代肝細胞、血液・皮膚等の生体試料、トランスポーター製品、微生物株をご提供しております。また、Hepatopacや近位尿細管細胞を使用した肝・腎毒性評価の受託も承っております。ぜひ製品検索サイト「細胞.jp」をご活用いただき、お気軽にお問合せください。

**キーワード：**HepaRG・株細胞(Cell Line)・肝細胞・生体試料・トランスポーター (SOLVO社代理店)

住所：661-0978 兵庫県尼崎市久々知西町2丁目1-20

TEL：06-6435-9747 / FAX：06-6435-9748 / E mail：shiyaku-info@kacnet.co.jp / URL：https://www.saibou.jp/

## コスモ・バイオ株式会社 / Cosmo Bio Co., Ltd.



コスモ・バイオでは、*in vitro*のアッセイ系を中心に、創薬初期のスクリーニングから毒性・安全性評価まで様々な商品・サービスを取り扱っております。

本学会では、毒性標的分子のスクリーニングサービスや初代培養細胞を用いたユニークな評価ツール、iPS細胞由来分化細胞をご紹介します。

**キーワード：***in vitro*細胞アッセイ・腎毒性・iPS細胞由来分化細胞・肝細胞

住所：135-0016 東京都江東区東陽2-2-20 東陽駅前ビル

TEL：03-5632-9616 / E mail：dds\_info@cosmobio.co.jp / URL：https://www.cosmobio.co.jp/

## ナカライテスク株式会社 / NACALAI TESQUE, INC.



ナカライテスク株式会社は幅広い製品を扱う試薬メーカーです。本展示では汎用試薬だけでなく、iPS細胞肝細胞/神経細胞/心筋細胞の分化誘導試薬や関連製品をご紹介します。またグループ企業である株式会社ホクドーから、動物を用いた薬理/薬効・安全性/毒性試験についてご紹介します。

**キーワード：**iPS・薬理薬効・安全性毒性・動物試験・受託試験

住所：604-0855 京都市中京区二条通烏丸西入東玉屋町498

TEL：075-211-2516 / FAX：075-231-2455 / E mail：inquiry-sp@nacalai.co.jp / URL：https://www.nacalai.co.jp/

## 日本毛織株式会社 / The Japan Wool Textile Co., Ltd.

ゼラチン繊維基材「Genocel」とヒトiPS由来細胞を用いた新規毒性評価系

【ヒトiPS心筋】

催不整脈性、心収縮障害、サルコメア構造変化、ミトコンドリア毒性等のマルチメータでの毒性評価が可能

【ヒトiPS神経】神経ネットワークを長期間維持でき、同期バーストおよび伝導障害の評価が可能

★URLより技術資料をご参照ください！

**キーワード：**3次元細胞培養足場材・心毒性評価・神経毒性評価・ヒトiPS細胞由来心筋細胞・ヒトiPS細胞由来神経細胞

住所：675-0053 兵庫県加古川市米田町船頭440

TEL：079-431-2105 / FAX：079-431-2070 / E mail：nrdc@nikke.co.jp / URL：https://nikkemedical.com/ivent/

## プロメガ株式会社 / Promega K.K.



プロメガはルシフェラーゼ発光を利用した各種アッセイ試薬および測定装置を提供しています。細胞膜の破壊により漏出したマーカーを発光法により高感度、簡便に測定することができます。最新のリアルタイム&マルチアッセイ、洗浄の不要なプレートベース免疫アッセイなどもご紹介いたします。

**キーワード：**細胞・発光・アッセイ・代謝・核酸精製

住所：103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町1-5 PMO日本橋江戸通 ビル 7F  
TEL：03-3669-7981 / FAX：03-3669-7982 / E mail：prometec@jp.promega.com / URL：prometec@jp.promega.com

## 株式会社ビジコムジャパン BizCom Japan, Inc.

InSphero社肝臓および豚島スフェロイドやNASHモデルの提供やこれらを用いた毒性試験の受託、スフェロイド作製用プレート等の販売を行っております。また、毒性試験用の肝細胞等の提供も行っております。

**キーワード：**肝臓スフェロイド・豚島スフェロイド・スフェロイド作製プレート・スフェロイドを用いた受託試験・NASHモデル

住所：141-0022 東京都品川区東五反田5-28-1  
TEL：03-6277-3233 / E mail：sales@bizcomjapan.co.jp / URL：https://bizcomjapan.co.jp

## 富士フイルム和光純薬株式会社 / FUJIFILM Wako Pure Chemical Corporation

**FUJIFILM**  
Value from Innovation

富士フイルム 和光純薬株式会社

富士フイルム和光純薬は豊富なラインアップで毒性学分野の発展、創薬支援に貢献します。ヒトiPS細胞由来分化細胞のiCell Productsおよび腸管上皮細胞の F-hiSIEC、皮膚感作性試験代替法ADRAの試験キット販売・受託サービス、皮膚透過試験用ミニブタ皮膚、ヒトPBMCをご紹介致します。またヒト凍結肝細胞製品の取り扱いを開始しました。

**キーワード：**プライマリー肝細胞・ヒトiPS細胞由来分化細胞・皮膚透過試験用皮膚・皮膚感作性試験代替法ADRA・生体試料受託サービス

住所：103-0023 東京都中央区日本橋本町二丁目4番1号 日本橋本町東急ビル  
TEL：03-3270-8247 / URL：https://labchem-wako.fujifilm.com/jp/index.html

## 富士フイルムワコーシバヤギ株式会社 / FUJIFILM Wako Shibayagi Corporation

基礎研究を免疫アッセイでサポートします。富士フイルムワコーシバヤギは「基礎研究を免疫アッセイでサポートします」を使命に臨床研究・非臨床研究向け免疫アッセイキットの開発・製造、抗体作製を行っております。

**キーワード：**汎用自動分析装置用試薬・ELISA・尿中アルブミン測定試薬・GLDH測定試薬

住所：377-0007 群馬県渋川市石原1062-1  
TEL：0279-25-0279 / FAX：0279-23-0313 / E mail：wksb-info@fujifilm.com / URL：https://www.fujifilm.com/wksb/ja

**株式会社ベリタス /  
Veritas Corporation**

毒性試験で用いられるヒト生体試料、ヒト初代細胞などに加え、様々な毒性評価系で活用可能なオルガノイド培養用培地や神経生理学研究用培地など、毒性試験向けの製品をトータルでご提案させていただきます。

**キーワード：**ヒト生体試料・オルガノイド培地・ヒトiPSC由来神経分化培地・神経生理学研究用培地・造血コロニーアッセイ

住所：105-0013 東京都港区浜松町1丁目10-14 住友東新橋ビル3号館  
TEL：03-5776-0078 / E mail：ruo@veritastk.co.jp / URL：https://www.veritastk.co.jp

## Axion BioSystems Japan 合同会社 / Axion BioSystems Japan

Axion BioSystemsのMaestroシリーズは、平面電極技術をベースとしたバイオエレクトロニック装置です。マルチウェル・フォーマットのプレートに細胞を培養し、ラベルフリー・リアルタイムに細胞の活動を電氣的に測定します。オールインワン装置の操作は簡単、付属ソフトで解析結果まで得られます。

**キーワード：**神経毒性試験・心毒性試験・マイクロエレクトロードアレイ (MEA)・細胞外電位測定・細胞傷害・毒性試験

住所：108-0075 東京都港区港南2-16-4 品川グランドセントラル8階  
TEL：03-6863-5453 / E mail：info-japan@axionbio.com / URL：https://www.axionbiosystems.com/

## emka TECHNOLOGIES株式会社 / emka TECHNOLOGIES Japan



emka TECHNOLOGIES株式会社は emka TECHNOLOGIES SAS(仏国)本社製品とグループ会社のSCIREQ(カナダ)製品を供給する日本法人です。

循環、呼吸、神経などに関連する薬理学、毒物学、生理学、安全性薬理などの試験・研究に有用な機器及びソフトウェアを開発・製造・販売・サポートを提供しているグローバルな会社です。

**キーワード：**テレメトリー・呼吸解析・動物実験機器・心電・血圧解析・バイオポテンシャル測定

住所：532-0011 大阪市淀川区西中島3-10-12サムティ西中島ビル4F  
TEL：06-6476-7135 / FAX：050-5830-7914 / E mail：info@emkatech.jp / URL：https://www.emkatech.jp/

## MIMETAS Japan株式会社 / MIMETAS Japan K.K.



還流と管状血管、細胞外基質などの細胞の生理環境をチップ上再現できるOrganoPlate関連製品および管状組織モデルの経上皮電気抵抗OrganoTEER測定装置の販売と同じシステムを用いた受託研究サービスを提供しております。ぜひお立ち寄りください。

**キーワード：**三次元培養・生体機能チップ・HTS・生体模倣システム(MPS)・TEER

住所：100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-2 鉄鋼ビルディング4階  
TEL：+81 368707235 / E mail：info-jp@mimetas.com / URL：https://www.mimetas.com/ja/home/

## アジレント・テクノロジー株式会社



アジレント・テクノロジー株式会社は、毒性評価研究などで必要な試料の前処理、分離・検出、そしてデータ解析で最適な技術をご提供します。新製品バイオLCは不活性な流路により高い再現性のLC分離をもたらし、従来より多くのお客様にご評価いただいている高い堅牢性に加えて、信頼性をさらに向上させました。

**キーワード：**LC/MS・GC/MS・不活性LC・自動分注機・サンプル前処理

住所：192-8510 東京都八王子市高倉町9-1  
TEL：0120-477-111 / E mail：email\_japan@agilent.com / URL：https://www.chem-agilent.com/

## ウシオ電機株式会社 / Ushio Inc.

# USHIO

ウシオ電機は、光ソリューションを世界に提供するリーディングカンパニーです。お客様の要望にこたえる生体模倣システム(MPS / Organs On Chip)の製品や開発ソリューションをご提供します。本会では、東北工業大学様と共同開発した神経培養用マイクロ流路デバイスを用いた薬剤の末梢神経障害スクリーニングについてご紹介します。

**キーワード：**生体模倣システム(MPS)・Organ on chip・末梢神経障害・マイクロ流体デバイス・受託開発

住所：225-004 神奈川県横浜市青葉区元石川6409

TEL：045-901-2573 / E mail：bioplate@ushio.co.jp / URL：https://www.ushio.co.jp/jp/feature/organs-on-chip/

## キコーテック株式会社 / KIKO TECH CO., LTD.



# キコーテック株式会社

キコーテック株式会社は、毒性・安全性評価のお役に立てる最先端の製品を販売しています。本学会では、組織多重染色・解析に豊富な実績を有するアコヤバイオ社の染色試薬と画像解析システム、毒性・安全性の新規バイオマーカー探索で注目されているIsoPlexis社のシングルセルセレクトーム解析システムをご紹介します。

**キーワード：**組織・シングルセル・細胞解析・多重染色・サイトカイン

住所：1540012 東京都世田谷区駒沢二丁目11番1号 駒沢フォーラムガーデン

TEL：03-5787-3323 / FAX：03-5787-3324 / E mail：kiko\_bizdev@kiko-tech.co.jp / URL：http://www.kiko-tech.co.jp

## シスメックス株式会社 / Sysmex Corporation



# sysmex

Lighting the way with diagnostics

シスメックスは、医療検査の分野で培った技術で非臨床分野における血液検査と快適なユーザビリティの実現に向けて取り組んでいます。血算，凝固，生化学分野における実験動物用分析装置や細胞計測装置を紹介いたします。

本大会では展示ブースの他、ポスター発表を予定していますので是非お立ち寄り下さい。

**キーワード：**非臨床・血液検査・動物血・細胞・骨髄

住所：651-2241 神戸市西区室谷1丁目3番地の2

TEL：078-991-2091 / E mail：labscience@sysmex.co.jp / URL：www.sysmex-labscience.jp

## 柴田科学株式会社 / SIBATA SCIENTIFIC TECHNOLOGY LTD.



# SIBATA

柴田科学は1921年の創業以来、理化学ガラス器具・機器メーカーとして、科学技術の発展と地球環境の保護を目指して活動してきました。環境エンジニアリング分野における大型装置の設計・開発もその一環です。

特に鼻部ばく露実験装置は、環境分野における特注の主力製品として知られています。この装置は実験動物を特殊なホルダーへ収納し、実験動物の鼻部のみをチャンバー内へばく露するものです。少量の試料で高濃度の状態を維持することができ、そのため急性実験に適しています。

本展示会では、この鼻部ばく露実験装置をメインに展示いたします。是非、当社ブースにご来場ください。

**キーワード：**吸入実験・魚類毒性・鼻部曝露

住所：340-0005 埼玉県草加市中根1-1-62

TEL：048-933-1577 / FAX：048-933-1589 / URL：https://www.sibata.co.jp/

## 住商ファーマインターナショナル株式会社 / Summit Pharmaceuticals International Corporation



当社では、催奇形性や胎児毒性評価における最適なソリューションとして小動物用マイクロCTを販売しています。また、遺伝子変異や発現解析等の遺伝毒性評価で有用な次世代シーケンサーも取り扱っております。

こうした研究機器を通じて毒性試験・研究をサポート致します。

**キーワード：**毒性評価・実験動物用 3DマイクロX線CT・In Vivo 発光・蛍光 Imaging・次世代シーケンサー・試薬・細胞

住所：100-0003 東京都千代田区一ツ橋一丁目2番2号 住友商事竹橋ビル12階  
TEL：03-5220-1520 / E mail：bioinfo@summitpharma.co.jp /  
URL：https://www.summitpharma.co.jp/japanese/service/products/index.html

## ソフィオンバイオサイエンス株式会社 / Sophion Bioscience K.K.



ソフィオンはデンマークに本社を置くオートパッチクランプメーカーです。創業以来ハイスループット機器を中心に、簡単に高品質データを取得できるシステムを開発し続けてきましたが、このたび8チャンネルのコンパクトサイズシステムを上市しました。「パッチクランプデータを誰でも気軽に」。是非ブースへお立ち寄り下さい。

**キーワード：**イオンチャンネル・電気生理・パッチクランプ・安全性薬理

住所：3670035 埼玉県本庄市西富田1011 IOC本庄早稲田V203号室  
TEL：0495-71-8811 / FAX：0495-71-8812 / E mail：inquiry@sophion.co.jp / URL：https://sophion.co.jp/

## 東京応化工業株式会社 / Tokyo Ohka Kogyo Co., Ltd.



SIEVEWELL™は、一般的なピペットで溶液を添加・吸引するだけで、高確率で1ウェルに1細胞を格納できます。ウェルに細胞を入れたまま培養、染色が可能です。透明で、顕微鏡でのイメージングなどに対応しています。当社ブースで使用例などをご紹介致します。

**キーワード：**シングルセル分離・細胞培養・染色・イメージング

住所：2530114 神奈川県高座郡寒川町田端1590  
TEL：0467-75-2151 / E mail：contact@sievevell.com / URL：www.sievevell.com

## 株式会社ニコンソリューションズ



近年、ヒト幹細胞や細胞分化技術を応用し、生体外での薬剤候補化合物の効果や毒性の評価が盛んに行われています。様々な評価系が開発・利用されていく中で、細胞観察装置に求められる機能も多様になっています。ニコンでは生物顕微鏡のみならず、お客様の課題解決のために様々な製品・サービスを展開しています。

**キーワード：**顕微鏡・画像解析・創薬支援・シグナルパスウェイ解析・臓器チップ/Microphysiological System

住所：140-0015 東京都品川区西大井1-6-3  
TEL：03-3773-8138 / E mail：Nsl-bio.Marketing@nikon.com / URL：https://www.nsl.nikon.com/jpn

(株)パーキンエルマー・ジャパン /  
PerkinElmer Japan Co., Ltd.



パーキンエルマーでは、ハイコンテンツイメージングの技術をベースに、蛍光イメージの定量を通して細胞毒性を数値で評価する技術を提供しています。2次元培養細胞のみならず、3次元スフェロイドやライブセルでの評価、セルペインティングなど、様々な手法に対応できます。定量に適した蛍光試薬もご用意しています。

**キーワード：**細胞毒性・ミトコンドリア毒性・3Dスフェロイド解析・Cell Painting・蛍光試薬

住所：240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134 横浜ビジネスパークテクニカルセンター 4F  
TEL：045-339-5862 / URL：https://www.perkinelmer.co.jp/

プライムテック株式会社 /  
Primetech Corporation



今年から発売の新製品もご紹介予定です。

- ・毒性バイオマーカー をfg/mLの高感度で計測(SMC x PRO)
- ・薬剤のミトコンドリア毒性を評価するための標準化されたXF mito toxソリューション
- ・業界初：被験動物毎に目標用量到達で自動停止可能な曝露・吸入システム(Buxco SmartStudy)

**キーワード：**毒性バイオマーカー・免疫アッセイ・細胞毒性・ミトコンドリア毒性・曝露吸入

住所：112-0002 東京都文京区小石川1-3-25 小石川大国ビル2F  
TEL：03-3816-0851 / E mail：marketing@primetech.co.jp / URL：https://www.primetech.co.jp/

水戸工業株式会社 /  
MITO KOGYO.Co.,Ltd



スフェロイド、オルガノイドの生育をサポートする回転浮遊培養装置「Clinostar」やラベルフリーで質量密度等の測定・分取できる装置「W8」を展示いたします。

**キーワード：**培養・スフェロイド・オルガノイド・毒性評価・3D

住所：101-0036 東京都千代田区神田北乗物町6  
TEL：03-3252-1230 / E mail：med\_lab@mitokogyo.co.jp / URL：https://mitokogyo-medlab.com/

モレキュラーデバイスジャパン株式会社 /  
Molecular Devices Japan KK

モレキュラーデバイスは、ライフサイエンス研究、医薬品および生物療法の開発に関する高性能の生物分析測定システム、ソフトウェア、および消耗品を提供する世界有数のプロバイダーです。当社が提供する最先端の分析機器ソリューションは、生産性と有効性を向上させ、最終的には研究の加速と新しい治療法の発見を促します。

**キーワード：**ハイコンテンツイメージング・ハイスループット3Dイメージング解析・スフェロイド・オルガノイドアッセイ・マルチパラメトリックアッセイ・Organ-on-a-chip

住所：103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町2-7-8 いちご日本橋イーストビル 7F  
TEL：0120-993-656 / FAX：03-6362-5269 / E mail：info.japan@moldev.com /  
URL：https://www.moleculardevices.co.jp/

★ブースNo.20

3D細胞に対応した自動イメージング&ピッキングシステム「CELL HANDLER」

- ・MPS、96、384、三次元培養用など各種プレートに対応
- ・ゲル中培養3D細胞の高精度イメージング&ピッキング
- ・独自チップでのダメージレスな吸引、吐出

イメージベースでの細胞選択、自由度の高いプレート間の移動を是非ご体験ください。

**キーワード：**MPS・Organ on a chip・オルガノイド・三次元培養・HTS

住所：438-8501 静岡県磐田市新貝2500

TEL：053-484-1882 / E mail：ych@yamaha-motor.co.jp / URL：https://www.yamaha-motor.co.jp/hc/

## コンピューターシステム

Instem Japan株式会社 /  
Instem Japan K.K.

当社は非臨床領域を中心としたコンピュータソフトウェアの提供およびSEND関連、in-Silico関連、TSAなどの受託サービスを展開しております。また、昨年PDS社買収し、製品・サービスの拡充を図っております。詳しくはお気軽にお問い合わせください。

**キーワード：**安全性試験システム・in-Silico・Target Safety Assessment・遺伝毒性システム・SEND

住所：108-6028 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティ A棟28階  
TEL：03-6717-6778 / E mail：japaninfo@instem.com / URL：www.instem.com

インフォコム株式会社 /  
INFOCOM CORPORATION

弊社は、ADME/Tox研究・調査を支援するソフトウェアやサービスを提供しています(デモや無料トライアル可能です。詳細はブースまで)。

- ・毒性・ハザード情報の統合検索エンジン ToxPlanet
- ・毒性予測 CASE Ultra (ICH M7対応含む)
- ・代謝物予測 META Ultra
- ・環境・健康毒性予測 Chemical Analyzer
- ・薬物相互作用データベース DIDB
- ・経皮吸収シミュレーション SKIN-CAD

**キーワード：**毒性・安全性・代謝物予測・ICH M7ガイドライン対応・薬物相互作用・ソフトウェア・データベース

住所：107-0052 東京都港区赤坂9-7-2 東京ミッドタウン・イースト10階  
TEL：03-6866-3860 / E mail：info-science@infocom.co.jp / URL：https://www.infocom-science.jp/

エルピクセル株式会社 /  
LPIXEL Inc.

エルピクセル株式会社はライフサイエンス領域の画像解析に強みを持ち、医療・製薬・農業分野で画像解析技術、とりわけ人工知能技術を応用することで高精度のソフトウェアを開発してきました。医師の診断を支援するAI画像診断支援技術「EIRL(エイル)」、創薬に特化した画像解析AI「IMACEL(イマセル)」を展開しています。

**キーワード：**画像解析・人工知能・創薬研究支援・安全性試験自動化・ソフトウェア開発

住所：100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1大手町ビル6階  
TEL：03-6259-1713 / E mail：imacel-support@lpixel.net / URL：https://lpixel.net/

## 株式会社シーエーシー

当社は創薬支援システムに知見のあるシステムインテグレーターです。本学会では、当社の「試験依頼管理システム」と「実験動物管理システム」をご紹介します。試験依頼や動物実験の管理業務の効率化をご検討の際は是非お声がけください。

**キーワード：**評価試験の依頼管理・動物実験審査・実験動物の管理

住所：103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町24-1  
TEL：080-6844-5104 / URL：https://service.cac.co.jp/pharma/drug\_discovery/plact

## 株式会社タクミインフォメーションテクノロジー / Takumi Information Technology Inc.



医薬品開発のデータマネジメントや統計解析に関する様々なソリューションをお客様にご提供しております。

84種類の統計解析手法を搭載した非臨床系統計解析ツール「Stat Preclinica」、SEND XPORTファイルの変換や作成をサポートし、データ変更時の変更履歴を取得できる「XPT Compare」などのツールを紹介致します。

**キーワード：**SEND・非臨床統計・XPT Compare・Stat Preclinica・システム開発および保守

住所：171-0014 東京都豊島区池袋2-40-13 池袋デュプレックスB's11階  
TEL：03-5979-7381 / FAX：03-5979-7382 / URL：https://takumi-it.co.jp/

## ノーザンサイエンスコンサルティング株式会社 Northern Science Consulting Inc.



創薬の初期から後期まで広くご活用いただける製品を販売しています。本展示会では以下のソリューションを中心に紹介致します。

- ・ ADMET Predictor<sup>®</sup> – 化学構造からADMET物性を予測。
- ・ DILIsym<sup>®</sup> – 候補化合物の潜在的な薬物性肝障害 (DILI) リスクを予測。
- ・ GastroPlus<sup>®</sup> – 候補化合物の薬物動態を予測。安全性評価も可能。

**キーワード：**薬剤性腎障害 (DKI) / 特発性肺線維症 (IPF) / 非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD・NASH)・  
遺伝毒性 / 環境毒性・吸収 / 分布 / 代謝予測・薬物間相互作用・データ管理 / データ共有

住所：060-0005 北海道札幌市中央区北5条西6丁目2-2 札幌センタービル 2F  
TEL：011-223-7456 / E mail：nsc\_support@northernsc.co.jp / URL：https://www.northernsc.co.jp/

## 三井E&Sシステム技研株式会社 / Mitsui E&S Systems Research Inc.

安全性試験を支援するMiTOX(三井安全性試験システム)の最新バージョンを主軸に、周辺システムとの試験スケジュール連携機能や創薬・薬理試験に対応した簡易試験版、SEND対応等、研究業務の支援システムとして数多くの製品を取り揃えています。また、システム導入に伴う課題整理や業務支援のご相談等、是非お気軽にお立ち寄り下さい。

**キーワード：**安全性試験・SEND・動物実験管理・試験計画・業務支援

住所：261-8501 千葉県千葉市美浜区中瀬1-3 幕張テクノガーデンD9  
TEL：043-274-6166 / FAX：043-274-6185 / URL：https://www.msr.co.jp

## 株式会社イワキ / IWAKI CO., LTD.



ゼブラフィッシュやメダカなどの水生生物を用いたバイオ研究や毒性試験に最適な、小型魚類集合水槽システムLABREED(ラブリード)ITS-Zをご紹介します。

研究用途や目的に合わせ、1台からでも柔軟なカスタマイズが可能です。専門スタッフによるアフターサービスも承っております。お気軽にお声掛けください。

**キーワード：**安全評価・毒性試験・バイオ研究・ゼブラフィッシュ・水槽システム

住所：101-8558 東京都千代田区神田須田町2-6-6  
TEL：03-3254-2934 / FAX：03-5295-8571 / URL：https://www.iwakipumps.jp

## インビボサイエンス株式会社 / In-Vivo Science Inc.



創薬や医学研究に欠かせない高度なヒト疾患モデルやそれらを用いたサービスを提供する会社です。実験動物の品質規格やヒト疾患動物モデルの開発で世界をリードする(公財)実験動物中央研究所のライセンス・サービス、先進独自の海外の動物試験サービス、モデル動物の遺伝子検査サービスを提供いたします。

**キーワード：**重度免疫不全NOGマウス・ヒト造血幹細胞/PBMC移植 huNOGマウス・ヒト幹細胞移植 Hu-Liver TK-NOG・インビボイメージング受託サービス・遺伝子検査サービス

住所：210-0821 川崎市川崎区殿町3-25-12  
TEL：044-201-8518 / FAX：044-201-8519 / E mail：sales@invivoscience.com / URL：https://www.invivoscience.com/

## 日本クレア株式会社 / CLEA Japan, Inc.



新しい「発見」を変わらない「品質」で

日本クレアは「健康で明るい社会作り」を目指し、動物福祉の精神に則って、医学・生物学・創薬研究に適応する各種実験動物の生産・供給を基盤とし、実験動物用飼料・器材・施設備品などの関連商品についても総合的に取り扱っております。

本学会では短期発がん性試験モデルであるrasH2マウスを中心にご紹介致します。

**キーワード：**実験動物・マウス・ラット・rasH2・コモン・マーモセット・受託試験

住所：153-8533 東京都目黒区東山1-2-7  
TEL：03-5704-7050 / FAX：03-3792-2032 / URL：https://www.clea-japan.com/

## マーシャル・バイオリソース・ジャパン株式会社 / Marshall BioResources Japan Inc.



高品質な実験動物やエンリッチメントのグローバルプロバイダーです(本社：米国)。ビーグル、フェレット、APD/SPFネコ、A129/AG129マウス、重度免疫不全マウス/ラット、ハッピーマット(麻原料のエンリッチメント)、SPF鶏卵等を通じ、研究や製造にて貢献しております。

**キーワード：**マーシャルビーグル・フェレット・ハッピーマット・重度免疫不全マウス/ラット・APD/SPFネコ

住所：305-0047 茨城県つくば市千現2-1-6 つくば研究支援センター C-A-5  
TEL：029-875-5870 / FAX：029-875-5871 / E mail：infojp@marshallbio.com / URL：https://www.marshallbio.jp/

**エルゼビア・ジャパン株式会社 /  
Elsevier Japan K.K.**



エルゼビアは、研究開発を専門的に支援するためのオンラインデータベースの提供に加え、お客様のニーズに合わせた様々なサービスを提供しています。今回のランチョンセミナーでは、下記をご紹介します。

- 1) FDA、EMAの医薬品承認審査報告書データベースPharmaPendiumの文書検索事例や抽出した毒性データ検索方法
  - 2) PharmaPendium収録データや弊社のデータセットを利用したカスタムプロジェクトの事例
- 是非ご参加ください。

ランチョンセミナー：6月30日(木)第7会場 12:00～13:00

企業展示ブースNo.23

ポスター発表：P-263「Use of Empirical Bayes Geometric Mean Gamma Poisson Shrinker (EBGM) Scores to Measure Animal-Human Concordance for Safety Studies」

キーワード：構造式・有害事象・予測モデル・臨床データ・市販後データ

住所：106-0044 東京都港区東麻布1-9-15 4F

TEL：03-5561-5386 / E mail：jp.corporate@elsevier.com / URL：https://www.elsevier.com/ja-jp

**公益財団法人 実験動物中央研究所 /  
Central Institute for Experimental Animals**



実験動物中央研究所は、実験動物学の医療・医学への貢献を目的として1952年に設立され、国内外の大学、研究機関、民間企業と連携し研究活動を行っています。最先端を行く実験動物の開発と、それを支える遺伝子改変、発生工学、無菌動物、モニタリング検査、病理解析、画像解析などの各種技術は高い信頼を得ています。

キーワード：実験動物・遺伝子改変動物の開発・rasH2マウス・NOGマウス・マーモセット・共同研究、受託試験

住所：411-0045 川崎市川崎区殿町3-25-12

TEL：044-201-8510 / URL：https://www.ciea.or.jp/

**株式会社ネクサスエージェント /  
Nexus Agent Inc**



ほったらかしでできる2億の資産形成と節税の方法ネクサスエージェントだから出来る不動産投資トータルサポートをいたします。会期中出展ブースにてお待ちしております。

キーワード：投資・不動産・資産形成・税金対策・税金

住所：542-0082 大阪府大阪市中央区島之内1丁目21番19号 オリエンタル堺筋ビル4F

TEL：06-6243-0402 / FAX：06-6243-0403 / E mail：asset@nexus-agent.com / URL：https://nexus-agent.com/

**三井化学株式会社 /  
MITSUICHEMICALS, INC.**



弊社では、世界で最も酸素透過性の高いプラスチック素材を使った高機能培養プレート(InnoCell；イノセル)の開発に成功しました。既存製品に比べ約200倍もの酸素透過性を有し、ミトコンドリア機能の賦活化による心筋細胞、肝細胞、腎細胞などの機能向上が確認されました。本展示では、InnoCellの創薬ツールとしての可能性をご紹介します。

キーワード：培養プレート・高酸素透過・安全性試験・薬理試験・心筋、肝、腎

住所：1057122 東京都港区東新橋1-5-2

TEL：03-6253-2093 / FAX：03-6253-4272 / E mail：InnoCell@mitsuichemicals.com